

YRS
ユアーズ

横浜ラポール
Support

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより

横浜ウェーブ

第175号

トピックス

ラポールの祭典2018 開催しました

9月2日(日)、横浜ラポール全体のお祭り『ラポールの祭典2018』を開催しました。

当施設は『聴こえない世界をのぞいてみよう!』をテーマに、今年は大会議室ABにおいて、ステージブースと体験ブースに分ける構成とし、当日は延べ983人のお客様にお越しいただきました。

ステージブースでは「ミニ講演」を2講演、「ミニ手話教室」、「体感コーナー」、体験ブースでは「要約筆記(手書き・パソコン)体験」を行いました。

「ミニ講演」には、スポーツと文化の分野で活躍しているお2人のろう者を迎えました。デフアスリートの陸上競技日本代表 岡部祐介選手(ライフネット生命保険株式会社)から、ご自身の生い立ちから世界を相手に戦う選手としての抱負などを聞き、たくさんのエネルギーをもらいました。もうひとりの講師は、石川絵理さん(NPO法人シアター・アクセシビリティ・ネットワーク事務局長)、聴こえない方が舞台を楽しむための工夫や観客としての心構えなどを学ぶことができました。「ミニ手話教室」は(一社)横浜市聴覚障害者協会、横浜市手話通訳者協会のご協力をいただき、家族連れなどの参加があり、一生懸命手話を覚えようとする様子がみられました。「体感コーナー」では、『音を感じてみよう♪ antenna 体験(オンテナ:富士通株式会社)』を行いました。映像から流れる音(狂言のセリフ、タップダンスのステップを踏む音、卓球ラリーの音、セミの鳴き声)を振動に変えて感じる装置を身につけて音を体感していただきました。また、「要約筆記(手書き・パソコン)」体験では、横浜市要約筆記者協会にご協力をいただきました。仕事に興味を持った来場者もおられたようです。会場の一画には、写真撮影セット(インスタ映えスポット)を作りました。スポーツや食べ物、干支などのパネルを用意した、手話単語パネルを持って手話表現を楽しむ家族の姿がありました。



【ミニ講演】

盛りだくさんの内容でしたが、ご協力いただいた当事者団体、支援団体の皆さま、誠にありがとうございました。

ラポールの祭典は来年も9月第1日曜日に開催予定です。楽しみにしててください。

トピックス

【参加報告】

全国聴覚障害者情報提供施設協議会 第三ブロック会議が開催されました

8月29日(水)、標記会議が群馬県聴覚障害者コミュニケーションプラザ(前橋市)にて開催され、施設長が出席しました。第三ブロックは、関東7都県に山梨県と川崎市、横浜市を加えた10の情報提供施設と、賛助会員施設の東京手話通訳等派遣センター(以下、東派セン)を含めた計11施設で構成され、ブロック会議や研修を年2回程度開催しています。

群馬情報見学の後、事前アンケートをもとに意見・情報交換をおこないました。複数自治体において、職業安定所に遠隔手話通訳サービスを導入する動きがあるとの報告や、東派センからは、2020年東京オリンピック・パラリンピック等の広域にまたがるイベントの情報保障を行なっていくためには、関東各施設が連携し通訳派遣体制を作っていく必要がある等の提起もありました。この課題については引き続き検討していくこととなりました。

次回は、2月に神奈川県聴覚障害者福祉センターにて研修会を実施する予定です。

相談事業

【参加報告】 第22回全国聴覚言語障害者福祉研究交流集会

10月20日(土)～21日(日)の2日間、東京学芸大学にて標記集会が開催され、職員1人が参加しました。重複障害や高齢聴覚障害者について考える集会で、全国から500名近い参加者があり、関心の高さを感じました。参加した分科会のテーマは「高齢聴覚障害者の暮らしを地域で支える」。単身や高齢夫婦のみで暮らす聴覚障害者が増えるなか、医療機関や介護保険事業者、家族との連携をどのように図っていくのか、手話通訳者や相談員の役割、ろうコミュニティの大切さ、地域で聴覚障害者が集える居場所作りなど、各地域での実践や課題を共有しながら熱心な意見交換が行われました。横浜でも抱える課題は共通するものがあります。日々の相談業務に活かせる有意義な2日間となりました。来年は大阪で開催予定です。



相談事業

【参加報告】 聴覚障害者の精神保健福祉を考える研修会 2018

8月11日(土)～12日(日)の2日間、港区障害保険福祉センターにて標記研修会が開催され、当施設から職員2人が参加しました。1日目は、浜松医科大学教授山末英典氏による「わかりあう難しさの脳基盤とオキシトシンによるその治療の試み」と、九州産業大学教授で日本手話通訳士協会理事の倉知延章氏「精神保健福祉の今、発達障害者への就労支援の課題」の、2つの講演がありました。最初の講演では日頃の相談支援とは異なりますが、自閉スペクトラム症の治療薬として現在進められている研究の話を知ることができました。就労支援の課題についての講演は、講師自らの経験をもとに「支援者が予測や評価はしない」「強みに焦点を当てていく」などのストレングスモデルに基づいた話で、相談業務への学びとしたい内容でした。2日目は、3演題4名の研究実践報告があり、継続中の支援報告や、発達障害のある聴覚障害児の学習会の実践成果報告、グループワークの実践を通し、精神保健の課題をもつ聴覚障害者への支援について、会場全体で考えるきっかけになるような報告がなされていました。支援者としての工夫や苦勞等共感できる内容が多くあり、本研修会で得た学びを今後の業務に活かし、さらなる理解につなげていけるようにしたいと思います。



相談事業

【参加報告】 平成30年度 第3回関東ろうあ者相談員連絡会

9月21日(金)、第3回関東ろうあ者相談員連絡会が聴力障害者情報文化センター(東京都目黒区)で開催され、当施設から職員2人が参加しました。今回は「意思決定支援について」をテーマに、当職員も含め連絡会の相談員4人が相談対応した事例を発表した後、それぞれに質疑応答や検討を行いました。また、情報交換として、仮想通貨の相談や預けたお金が返金されないなどの相談の情報共有や、来年度に向けた会則改正の話し合いをしました。第4回連絡会は、12月7日に開催予定です。



普及・啓発

【参加報告】 第3回「浜の会」茶話会

8月20日(月)、西区福祉保健活動拠点フクシアにて第3回「浜の会」茶話会が行われ、当施設職員が参加しました。9月のイベントの紹介や情報提供をしたり、参加者とお話をしたりして交流を深めました。当施設から職員が参加するのを楽しみにしている方がいらっしゃるようです。この交流は継続していきたいです。



普及啓発

「第46回横浜市聴覚障害者のつどい」で 当施設を宣伝してきました

9月16日(日)、港北公会堂にて(一社)横浜市聴覚障害者協会主催の「第46回横浜市聴覚障害者のつどい」が開催され、当施設のブースを設けさせていただきました。今回は、各ブースの代表が舞台上で宣伝する1分間スピーチにも加えていただいたこともあり、ブースに立ち寄り声をかけてくださることが増えてきました。また、他に出店している作業所や業者の皆さんとの交流を深めたり、情報交換したりしました。

今後とも色々なイベントに参加して、当施設事業のさらなる利用促進につとめたいと思います。

派遣事業

手話通訳・要約筆記者合同研修

「手話通訳者のための日本語」

9月15日(土)、国立国語研究所日本語教育研究領域プロジェクト研究員 田中啓行氏を講師にお招きし、上記テーマで研修を行い90人が出席しました。講師は、聴覚障害者学生のサポートに関わられており、



ご自身も手話ができる方です。通訳に必要な日本語力は何が、表現の選択と談話を理解する際の予測の大切さについてお話いただきました。

高い日本語力が求められる通訳者には、「相手との関係性や場面に応じた言葉の使い分け、話し手のパーソナリティーを損なわない表現力が必要であること」「話の内容を理解するためには展開を予測していくことが大切であること」を具体例で示していただきました。そして、展開を予測する力をつける方法として

「先がどうなるかと予測しながら文章を読んでみる」等、日々の生活の中から始められると教えていただきました。通訳者として、メッセージを理解して伝えることのできる日本語力の重要性について再確認した研修でした。

訂正174号の「医療通訳としての手話通訳」の記事について

誤り： I M A I (INTERNATIONAL MEDICAL INTERPRETERS ASSOCIATION) → 正しくは I M I A です。

訂正してお詫びいたします。

横浜ラポール字幕付き演劇会を開催します

字幕付き演劇を開催します。聴覚に障害のある方も気軽に楽しめる演劇会です。パソコンによる字幕を液晶プロジェクターにより投影します。詳細は、「月刊ラポラポ」、ラポールホームページでご確認ください。

お問い合わせ：横浜ラポール文化担当字幕付き演劇会係 FAX：045-475-2053

お知らせ

聴覚障害者情報提供施設年末年始の休みについて

	12/28(金)	12/29(土)	12/30(日)	12/31(月)	1/1(火)	1/2(水)	1/3(木)	1/4(金)
職員	○ ラポールは休館	×	×	×	×	×	×	○ ラポールは休館
FAX	17:00 まで	×	×	×	×	×	×	9:00 から
メール	○	×	×	×	×	×	×	○

年末年始の緊急時について



機関名	F A X 番号	対応時間	手話通訳
横浜市消防局	1 1 9 (横浜市内)	無休 / 24 時間	○ (申請時に通訳が必要と申し出てください。)
神奈川県警察	0 1 2 0 - 1 1 0 2 2 1	無休 / 24 時間	○ (申請時に通訳が必要と申し出てください。)
横浜市救急相談センター	2 4 2 - 3 8 0 8	無休 / 24 時間	× (TEL、FAXの対応のみ)
横浜市コールセンター	6 6 4 - 2 8 2 8 callcenter@city.yokohama.jp	無休 / 8 時 ~ 2 1 時	× (TEL、FAX、メールでの対応のみ)

年末年始は多くの医療機関が休診となりますので、各区にある休日急患診療所をご利用ください。



(9月末までの累計)

■通訳者の派遣・紹介人数

■聴覚障害者の相談

内容	手話通訳	要約筆記	合計	昨年同月	相談事業	実件数	対応数
医療・保健	2, 8 8 5	1 2 9	3, 0 1 4	2, 7 0 6	医 療	6 3	1 4 5
司 法	3 3	0	3 3	6 1	職 業	1 4	1 8
教育・保育	4 0 8	3 0	4 3 8	3 9 7	教 育	2	2
労働・雇用	4 1 1	3 3	4 4 4	3 8 1	住 宅	1 2	1 7
社会生活	7 7 0	1 0 7	8 7 7	6 7 9	生 活	1 1 9	1 9 4
自己啓発	1 4 5	3 5	1 8 0	1 7 1	福 祉	9 5	1 8 8
福祉推進	4 9 6	7 1 3	1, 2 0 9	1, 1 7 1	法 律	9	1 8
相談員	3	0	3	0	聞こえ	9	1 1
他都市	9 1	1 5	1 0 6	1 2 1	合 計	3 2 3	5 9 3
合計	5, 2 4 2	1, 0 6 2	6, 3 0 4	5, 6 8 7	昨年同月	2 7 4	4 5 0
昨年同月	4, 6 8 4	1, 0 0 3	5, 6 8 7				

■通訳者の現任研修

■映像・字幕制作

手 話	回 数	2 4	参加人数	8 3 6	自主制作作品数	3 0
要約筆記	回 数	1 6	参加人数	2 9 1		



9月

- 2 ラポールの祭典
- 3 手話1年次研修
- 5 要約筆記者研修
- 5 港町診療所訪問
- 8 手話課題別研修
- 10 衛生委員会
- 10 非常勤手話通訳者会議
- 11 視聴覚機器点検
- 12 手話養成講師ヒアリング (横聴協)
- 13 区配置通訳者説明会
- 11 防災点検
- 15 手話・要約合同研修
- 16 横聴協のつどい出展、式典登壇
- 18 要約新人研

- 20 研究発表会実行委員会
- 21 関東ろうあ者相談員連絡会
- 23 手話講師養成伝達講習 (横聴協)
- 25 手話2年次研修
- 26 主管局定例会議
- 28 事業団階層別研修 (4級)
- 29 手話課題別研修
- 29 障害者スポーツ大会結団式

10月

- 3 要筆現任研修
- 3 手話養成運営委員会 (横聴協)
- 9 視聴覚機器点検
- 11~16 全国障害者スポーツ大会選手団随員 (福井)
- 11 手話登録試験委員会 (横聴協)
- 11 防災点検

- 13 手話課題別研修
- 13 手話通訳Ⅲ実習 (横聴協)
- 15 浜の会茶話会参加
- 15 手話専門研修
- 17 手話・要約合同研修
- 20 全要研集会秋季大会 (東京)
- 20~21 全国聴覚障害者福祉研究交流集会 (東京)
- 22 衛生委員会
- 23 手話3年次研修
- 23 事業団階層別研修 (5級)
- 24 主管局定例会議
- 28 手話通訳Ⅲ実習 (横聴協)
- 30 手話2年次研修
- 31 手話養成試験対策 (横聴協)

横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設だより《横浜ウェブ》

発行日：平成 30 年 10 月 31 日

発行者：(社福) 横浜市リハビリテーション事業団 横浜ラポール聴覚障害者情報提供施設

〒222-0035 横浜市港北区鳥山町 1752 TEL. 045-475-2057 FAX. 045-475-2059

ホームページ <http://www.yokohama-rf.jp/rapport/jyoutei/>